

平成29年度



赤木小だより

平成29年12月19日 No.30 文責 校長 鈴木 久

《教育目標》

『豊かな心と総合的な学力を身につけた、たくましい児童の育成』
あ 明るくあいさつをする子ども
か 考えをもって学び合う子ども
ぎ 気持ちよく運動する子ども

共に育ち、高まり合う学びの創造 ～自己肯定感を育むアクティブ・ラーニング～ を追究し、子ども一人ひとりが育っています

3年1組：算数「□を使った式」

12月15日（金）、5校時目に福島大学の齋藤先生をお招きして、3年1組で算数の授業研究会が行われました。授業テーマは「具

体物を使い問題文から式への思考を助け、線分図、ことばの式を用いて話し合いをすることで、□を使った式への理解を深める授業」でした。

子どもたちは、絵の順番を意識して立式したり、未知数を□にして立式したり、立式の根拠を線分図やテープ図、ことばの式などで説明し合ったりすることで、文章題における線分図の必要性や、□を使った式に表すことよさを感得していました。



あめを缶の中に何か入れたのですが、分からなくなりました。

じゃあ、缶の中に全部で何が入っているの？

□を使った式を、線分図で表すと「ぱっ」とみてよくわかるね！

お話のとおり式に表すと□を使った式は便利だなあ！

4年1組：理科「水の姿と温度」

12月12日（火）、5校時目に4年1組で理科の授業研究会が行われました。授業テーマは「問題を解決するための仮説を立て、実験を通して解決することのできる力を育てる授業」でした。子どもたちは、湯気の正体を追究するために、これまでの経験を踏まえて予想を立て、その根拠を話し合いながら実験に取り組み、湯気の正体を明らかにしていました。



赤木プライドを胸に日々成長する子どもたちを誇らしく感じます！

82日間（臨時休校1日）の2学期がまもなく終了します。子どもたちは、日々の授業はもちろん、さまざまな教育活動をとおり、大きな成長が見られた2学期でした。特に2学期の目標に掲げた「3つの『あい』のできる子」、学びあい、助けあい、高まりあいのできる子どもに育っています。また、赤木小の子どもとしてのプライドも育っています。気持ちのよいあいさつ、靴箱の整理整頓、心のこもった清掃、下級生へのいたわり、間違いを許す寛容さ、時と場に応じた言葉遣い、友だちを尊重する態度などは、赤木プライドの象徴です。

保護者の皆さまには、赤木っ子フェスティバルをはじめ、教育講演会、学習発表会（赤木の日）、各種運動記録会や音楽コンクールへの応援、授業参観や懇談会、教育相談などに積極的にご参加いただき、本校教育への深いご理解と多大なご支援・ご協力をいただきましたことに心より深く感謝申し上げます。

3学期は、学年のまとめとなります。学力の保証、命の保障はもちろんのこと、学校生活における「思い出づくり」と「感謝を伝える」ことをキーワードに、さらなる成長を支援して参りますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



あかるく、いきいきと、うつくしく、えがおで、おもいやりのある子

